



ここにすれば



えあね

2017.11.12



いのちと平和と子どもたち  
川口ぞうれっしゃ合唱団

川口ぞうHP <http://kawaguchizou.sakura.ne.jp>  
メール [kawaguchizou21@s8.dion.ne.jp](mailto:kawaguchizou21@s8.dion.ne.jp)  
TEL 048-268-9256(荒木) 261-1714(栗山) 266-1242(柴山)

こんにちは。お久しぶりの人たちも、はじめましての人たちも、今日ここに来てくださってありがとう。  
「ぞうれっしゃがやってきた」に魅せられた人々の思いを原動力に、ここ芝園で「ぞうれっしゃ合唱団」が産声を上げたのは、湾岸戦争が勃発する前年の1990年11月10日でした。以来27年、「いのちと平和と子どもたち」を大切に、「ここにすればあえるね」を合言葉に活動を続けてきました。まあ、あれやこれやと世の中は厳しい動きを見せていますが、私たちはこれまでと変わらず、14回目のコンサートに向けて今日から走り出します。この歌をいつまでも歌い続けることができる未来を子どもたちに手渡すために、来年7月までの約8ヶ月、楽しくがんばっていきましょうね。

## 今度の会場は埼玉会館

毎度毎度、公演会場を確保するため手分けして抽選に行くのですが、今年はリリアが完敗。埼玉会館もやっそこ6月30日土曜日を押さえ、翌月もう一度抽選して7月1日の日曜日を取ることができました。

## いままでに決まっていること

これまでに引き続き、指揮者は依田さん、ピアノは大和さん、ホルンは大見川さん、フルートは古田さんにお引き受けいただきました。

第一部のゲストも決まっています。「オペラシアターこんにゃく座」さんです。1971年の創立以来、日本語のオペラ作品をレパートリーに、よく聞き取れて、内容の伝わる歌唱表現を旨として「新しい日本のオペラの創造と普及」を目的に掲げ、全国で活躍中のみなさんです。

今回も、埼玉県・埼玉県教育委員会・川口市・川口市教育委員会・蕨市・蕨市教育委員会・埼玉新聞社・朝日新聞さいたま総局・毎日新聞さいたま支局・東京新聞さいたま支局・HNKさいたま放送局より後援をいただいています。

## おねがいひみつ

その1：お互いの名前を早く覚えられるように、名札を付けてください。形や大きさは自由です。

その2：もう少し団員がほしいのです。特に子どもと男性。もちろん女性も。お誘いチラシがありますので、持って行ってお友だちを誘ってくださいね。

その3：取材やブログで写真を掲載することがあります。名札などについては削るよう配慮していますが、写真が載るのも困るという方はあらかじめお知らせください。その場合、個別のアップは避けませんが、遠景、重なり、解像度を落としての集合写真などは載せることがありますので、その旨ご了承ください。

今後の練習予定は、11月26日、12月10・24日、1月14・28日です。それ以降も原則として、第2、第4日曜日、時間は朝の10時から12時となります。教育研究所の都合で、ごくたまに練習会場が変わる場合がありますので、「こあ」で事前に確認して下さいね。

これからは乾燥する時期なので、適宜のどを潤すお茶やお白湯も持ってきてくださいね。

ではまた、11月26日に。ここにすればあえるね♪